

## 令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	新潟市	代表者名	中原 八一
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	デジタル行政推進課
担当者役職	係長	担当者氏名	川上 直哉
住所	951-8550 新潟県新潟市中央区学校町通1番町602番地1		

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	連絡先部署	連絡先電話番号	連絡先E-mail
担当者氏名	連絡先電話番号	連絡先E-mail	

#### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修(単独)	事業名(予定)	一般職員向けDX研修
概要	一般職員向けにサービスデザイン思考に基づいたDX研修を実施するもの。		
支援を求める分野	人材(DX推進のための機運の醸成) 人材(DXに関する知識習得・研修・育成)		

### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年9月3日	支援・助言(実地)	10時00分	17時00分	60
				活動時間(分)	360
2-2. 派遣場所	会場名	新潟市役所本庁舎	最寄駅	新潟駅	
	所在地	新潟県新潟市中央区学校町通1番町602番地1	最寄駅からの交通手段	新潟交通バス「新潟駅」乗車～「市役所前」下車	

### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	市川 博之
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	・アドバイザーの実務経験の引き出しが多く、具体的なイメージを持ちながら学習が進められた。 ・ワークショップにおいて、PDCAを複数回実施して繰り返し改善するプロセスを経験することにより、「スモールスタート」や「改善し続けること」などのDXに必要なスキルの習得とマインドの醸成につながった。
アドバイザーへの要望事項	なし

### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	23人
	属性	企業・団体	その他(学生など)
	自治体職員	住民	
	人数	23	

#### 4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実際に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的に記入下さい)	行政サービスのデジタル化において、職員側の業務における課題解消が優先され、利用者目線に立った新しい価値の提供が主目的となっていないケースが散見される。
支援により目指す成果(具体的に記入下さい)	デジタル技術の活用にあたり、単なる紙から電子への置換えではなく、サービスデザイン思考に基づいて市民に提供すべき新しい価値を明確にする手法を習得する。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	サービスデザインが必要な背景や考え方などをご講義いただくとともに、演習などを通して職員が企画立案の過程を体験しながら理解を深めた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	ペルソナ設定やカスタマージャーニーマップ分析、PDCAの繰り返しなどの手法を、ワークショップ形式で体験することによって、市民目線を取り入れるための実践的な方法を学ぶことができた。また、普段は考えが及ばない市民の感情や行動、関連する全てのステークホルダーなどを分析することにより、参加した職員の視野が広がった様子が見て取れた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	④人材育成のカリキュラムやツールを策定できた 一般職員研修を定例化するにあたり、デジタル化に取り組むスタート地点で学ぶべきカリキュラムが定まった。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	なし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 実例を交えた講義や実践的なワークショップへの評価が非常に高かった。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある DX推進リーダーを各所属に配置するにあたっての育成方針と計画を今後具体化する予定。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	利用者の利便性を最も高める手法を用いた行政手続のオンライン化および行政サービスのデジタル化を推進する。	

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可 <https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

掲載許可  掲載可

**なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください**

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真 (JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

